

浅井北だより



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆令和6年 6月号

☆様々な場面で、子どもたちはがんばり成長しています☆

梅雨入りが例年より遅かったり、例年よりも早く暑くなる日があったりと、天候・気候が不安定な日々です。そんな中、子どもたちは毎日、運動に、勉強に、係や委員会の活動に一生懸命に取り組んだり、そして夢中になって遊んだり、とてもすてきな笑顔で学校生活を送っています。

6月4日(火)～10日(月)は、「歯と口の健康週間」でした。この期間に合わせ、保健委員の児童が1年生の児童を招待し、歯みがき教室を開催しました。保健委員の児童が1年生の前で、緊張感を漂わせながら、歯ブラシの持ち方や動かし方を1年生に分かりやすいように説明していました。1年生も教えてもらったことをその場で実践し、身につけようとがんばっていました。どちらもとても一生懸命で、でもとてもすてきな笑顔が見られ、いい機会となりました。



6月3日(月)～6月14日(金)は、「あじさい読書週間」でした。あじさい読書週間が始まる前に、図書委員の児童が「あじさい読書週間」についてのPR動画を撮影・作成し、あじさい読書週間の当日、各クラスで視聴しました。読書週間で取り組んでほしい内容がよく伝わり、よいスタートが切れました。図書委員の児童がみんなに伝えたいという思いをもって練習したことがとてもよく分かりました。

読書週間中には、先生による読み聞かせを実施しました。今回は、担任ではない先生が読み聞かせをすることにしたので、子どもたちはどの先生がくるのか、とても楽しみにして待っていました。昨年度に引き続き、今年度もキャッツハンドのみなさんに読み聞かせをしていただき、大変好評でありましたが、今回の先生による読み聞かせも子どもたちにはとても良い機会になったと感じています。どちらも担任ではない大人が学級に入ること、子どもたちは新鮮な気持ちになり、短い時間でしたが楽しむことができたのではないかと思います。



今年度に入って、ある学年を中心に「一輪車」に乗ることがブームになっています。一輪車に乗れるようになろうとがんばっている子どもたちの様子を見てみると、日ごろの、小さなことでもよいので積み重ねが大切だな、と改めて感じます。最初は何かにつかまって一歩も動けなかった状態から、両手で支えて数mできるようになり、徐々にその距離を伸ばしたら、今度は片手だけの支えで長距離ができるようになり、そして支えもなく一輪車に乗れるようになっていきます。一人一人の進み具合は違いますが、できるようになったことが増えてきたときの子どもたちのうれしそうな表情、そしてできるようになったことを報告に来る時の子どもたちの自慢そうな表情、そんな表情を見てみると、こちらまでうれしくなります。

このように、子どもたちは様々な場面で経験し、活躍し、自信にすることで成長していきます。これからも小さなことでもよいので経験し、活躍し、自信にして、成長してほしいなと思います。